

令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS そがわ



○事業所名	COMPASSそがわ		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日		～ 令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日		～ 令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 4日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業所を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこない、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に反映しております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 また、不明点については指定権者へ確認を行い、法令に基づいた適切な運営に努めております。	児童が安心して楽しく通い、成長を実感できる事業所となるよう、引き続きルールを遵守しながら支援の質の向上に努めてまいります。
2	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が一貫しておこなわれております。	支援計画の内容を職員全体で共有し、統一した関わりができるよう、日々の申し送りや会議を通して確認しております。	支援内容の理解をさらに深め、児童一人ひとりの特性や個性に応じた、より質の高い支援につなげてまいります。
3	児童や保護者様からの相談や申し入れに対する体制が整備されており、迅速かつ適切に対応しております。	ご家庭の状況やニーズに応じて、臨機応変かつ丁寧な対応を心がけております。	相談しやすい環境づくりと周知を継続し、より安心してご利用いただける体制づくりに努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関に段差があり、バリアフリー面において十分とは言えない部分があります。	建物の構造上の制約により、完全なバリアフリー化が難しい状況にあります。	建物は自由遊びと療育の空間を仕切りにより分け、児童にとって分かりやすい構造となるよう工夫しております。玄関の段差については、必要に応じてスロープの設置等を検討し、安全に配慮した環境整備に努めてまいります。
2	利用人数や活動内容によっては、活動スペースがやや窮屈に感じられる場合があります。	限られたスペースの中で複数の活動を同時におこなうことがあるためです。	限られたスペースの中でも安全に配慮しながら、活動時間やグループ分けを工夫し、ゆとりをもって活動できる環境づくりに努めてまいります。
3	全職員が同時に参加する研修や会議の時間確保が難しい場合があります。	利用児童への支援を優先する中で、全職員が一斉に集まる時間の確保が難しい状況にあります。	利用児童への支援に配慮しながら、勤務体制や時間調整をおこない研修機会の確保に努めるとともに、資料共有やオンラインの活用により、全職員の資質向上に努めてまいります。



公表日：令和8年3月18日